

31 野生植物抽出ミネラルによる生体への 抗酸化・還元作用と病態の改善について

中山栄基

(株やつか 北里大学医療衛生学部)

(目的)

自然界に生育する野生植物から抽出した野生植物ミネラルの持つ自然バランスと高還元力、免疫賦活能によって各種の疾病を改善し、健康を確保する。

(方法)

ミネラルの製造：野草、海藻、樹木葉などから抽出

ミネラルの還元力：TOA—ORP計にて測定

野生植物ミネラルの免疫機能試験（細胞媒介性・体液性・マクロファージ喰食能）有害性試験

雌性マウス、80匹 21日間連続的に強制経口投与

ミネラルの臨床試験：悪性腫瘍その他各種疾病患者。

(成績)

野生植物ミネラルの主な元素はCa、K、Cl、Na、Mg、Si、P、S、その他地球上のほとんどの元素を微量に含有、酸化還元電位は水素電極補正值で-250～-400mvと極めて高い還元力が得られた。

免疫機能試験では、細胞媒介性、体液性、マクロファージ喰食能とも対照群に対してミネラル群は高値を示し、免疫賦活機能のあることが示された。有害性調査では、500mg/kg、21日間の経口摂取において全例生存し、臓器にも異常はみられなかった。

臨床試験では、頸骨、子宮、卵巣、肺、肝臓、白血病などの悪性腫瘍に対して1～3ヶ月の短期間の摂取で縮小、消失などの改善がみられ、病状が初期ほど改善率は高かった。又、子宮、卵巣など女性生殖器の腫瘍の改善率も高かった。放射線、抗癌剤治療者に対する副作用の軽減効果も著しかった。その他血液障害、血管子の障害、糖尿病、アトピー性皮膚炎、膠原病、てんかんなど各種の疾病に対しても改善が示された。

(結論)

野生植物ミネラルには極めて高い還元力と免疫賦活機能があり、生体への摂取により、劣化した生体を活性化させ、癌をはじめ、脳血管系、アトピーなど種々の現代病が改善されることが実証された。